



2023年12月期第3四半期 決算補足説明資料

日華化学株式会社

(東証スタンダード：4463)

2023年10月31日

1

サマリー

# サマリー

## 1 全社：減収・減益 3Qで業績回復傾向

売上高：37,453百万円（△2.0%）、営業利益：1,329百万円（△42.6%）

経常利益：1,816百万円（△38.0%）、四半期純利益：1,018百万円（△45.6%）

特別利益：1.4億円減

為替：期中平均 円/米ドル 138.87円 8.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q予想：63,500円（同△22.0%）  
 4Q予想：74,000円（同+2.1%）

## 2 化学品事業：減収・減益

売上高：26,355百万円（△4.3%）、セグメント利益：1,054百万円（△32.5%）

- (要因)
- 【売上高】 (－) 欧米アパレル在庫調整、コロナ急拡大に伴う中国の低稼働、半導体市場不況の影響による需要減も、3Qで一部アパレル回復傾向
  - (＋) 新規ビジネス獲得
  - 【利益】 (－) 売上減による利益減、原材料高も、3Qだけでは前年同四半期比増益に回復

## 3 化粧品事業：増収・減益

売上高：10,697百万円（+8.0%）、セグメント利益：1,573百万円（△21.7%）

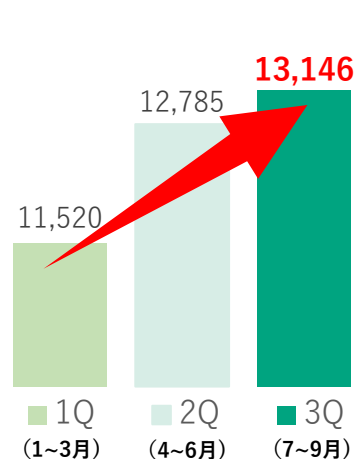
- (要因)
- 【売上高】 (＋) デミコスメティクス新商品拡販等で堅調、山田製薬・デミ コリア好調
  - (－) 美容室来客数の減少
  - 【利益】 (－) 戦略的プロモーション投資等で上期販管費増も、3Qだけでは販管費前年度水準に

# 決算概要（全社） 四半期推移・比較（2023年12月期）

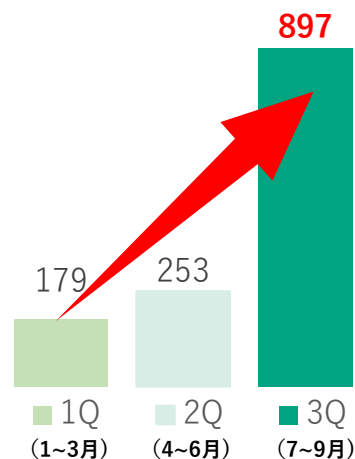
順調に業績は回復傾向

単位：百万円	2023年12月期 第1四半期 (1~3月)	2023年12月期 第2四半期 (4~6月)	2023年12月期 第3四半期 (7~9月)	直前四半期比 (2Q ⇒ 3Q)	
				増減額	増減率
売上高	11,520	12,785	13,146	+ 360	+ 2.8%
営業利益 (営業利益率)	179 (1.6%)	253 (2.0%)	897 (6.8%)	+ 643	+ 254.0%
経常利益	281	485	1,049	+ 564	+ 116.3%
四半期純利益	27	257	732	+ 475	+ 184.5%

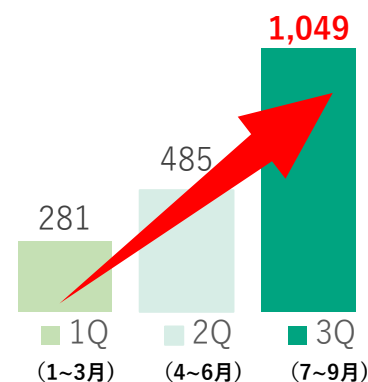
売上高



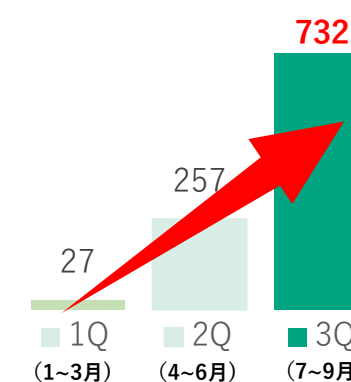
営業利益



経常利益



四半期純利益



# 決算概要（セグメント別）四半期推移・比較（2023年12月期）

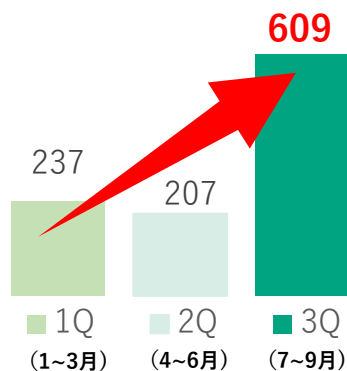
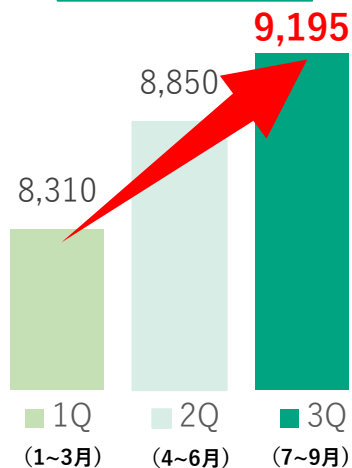
順調に業績は回復傾向

単位：百万円		2023年12月期 第1四半期 (1~3月)	2023年12月期 第2四半期 (4~6月)	2023年12月期 第3四半期 (7~9月)	直前四半期比 (2Q ⇒ 3Q)	
					増減額	増減率
化学品	売上高	8,310	8,850	9,195	+344	+3.9%
	セグメント利益	237	207	609	+402	+193.8%
化粧品	売上高	3,076	3,746	3,873	+126	+3.4%
	セグメント利益	386	464	722	+258	+55.7%

## 化学品事業

売上高

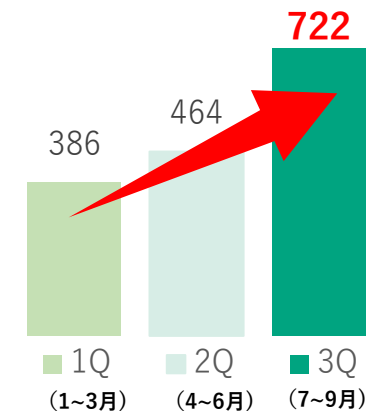
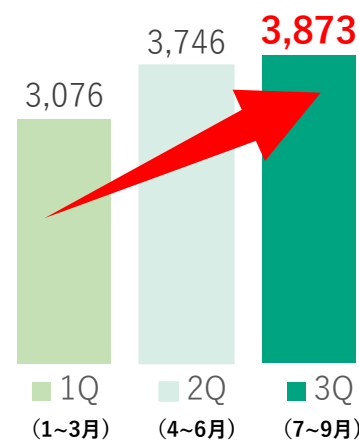
セグメント利益



## 化粧品事業

売上高

セグメント利益



2

## 決算概要 (全社)

## 減収・減益も3Qで業績回復傾向

単位：百万円	2022年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	38,233	37,453	△779	△2.0%
営業利益	2,315	1,329	△985	△42.6%
(営業利益率)	(6.1%)	(3.6%)		
経常利益	2,929	1,816	△1,112	△38.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,871	1,018	△853	△45.6%
ROA	5.6%	3.1%		△2.4pt
ROE	9.4%	4.7%		△4.7pt
EBITDA	4,113	3,001	△1,112	
減価償却費	1,798	1,671	△126	
自己資本比率	49.8%	52.1%		+2.3pt
	(2022年度末)			
年間配当 (円)	30	32		

## ポイント

## 【売上高：減少】

- (-) 化学品：欧米アパレル在庫調整、コロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減も、3Q以降一部で回復傾向
- (+) 化粧品：山田製薬、デミコリア好調

## 【利益：減少】

- (-) 化学品：売上減による利益減も3Qだけでは前年同四半期比増益
- (-) 化粧品：戦略的プロモーション投資等で販管費増も、3Qだけでは販管費前年度水準に
- (-) 原材料高止まりも一部下落傾向あり、動力費・燃料費等単価上昇

為替：期中平均 円/米ドル 138.87円 8.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q予想：63,500円（同△22.0%）  
 4Q予想：74,000円（同+2.1%）

2

決算概要  
(セグメント別)



# セグメント

## 「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

### 化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル  
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル  
(先端材料)



#### 主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

### 化粧品事業

「主カブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発」

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



#### 主要な関係会社

- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

# セグメント別業績

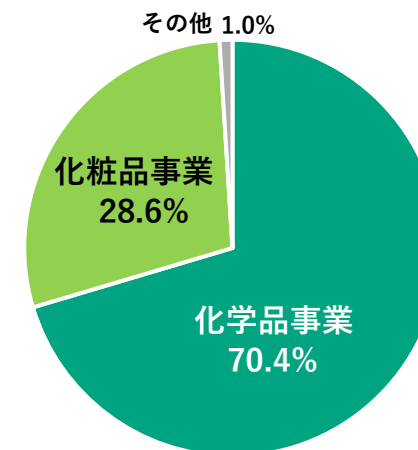
**化学品事業：減収・減益**（主力の繊維化学品分野における、欧米アパレル在庫調整、コロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減も、3Q以降一部で回復傾向）

**化粧品事業：増収・減益**（山田製薬、デミコリア好調の反面、戦略的プロモーション投資等で販管費増も、3Q販管費前年度水準に）

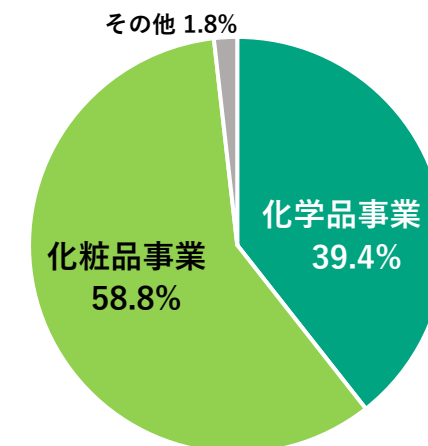
**両事業とも3Qで業績回復傾向**

売上高：化学品事業が約7割  
利益：化粧品事業が約6割

売上高



セグメント利益



単位：百万円		2022年12月期 第3四半期		2023年12月期 第3四半期		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	化学品事業	27,528	72.0%	26,355	70.4%	△1,172	△4.3%
	化粧品事業	9,902	25.9%	10,697	28.6%	795	8.0%
	その他	803	2.1%	400	1.0%	△402	△50.1%
	合計	38,233	100%	37,453	100%	△779	△2.0%
セグメント利益	化学品事業	1,562	42.9%	1,054	39.4%	△508	△32.5%
	化粧品事業	2,008	55.2%	1,573	58.7%	△435	△21.7%
	その他	67	1.9%	50	1.9%	△16	△24.6%
	合計（消去前）	3,638	100%	2,678	100%	△960	△26.4%
	消去等	△1,323		△1,348		△25	1.9%
合計	2,315		1,329		△985	△42.6%	

# セグメント別（化学品事業）

減収・減益 3Qで業績回復傾向

単位：百万円

化学品事業	2022年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	27,528	26,355	△1,172	△4.3%
セグメント利益	1,562	1,054	△508	△32.5%

為替：期中平均 円/米ドル 138.87円 8.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）  
 2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q予想：63,500円（同△22.0%）  
 4Q予想：74,000円（同+2.1%）

要因

【売上高】

- ◆繊維化学品分野
  - (+) インド・バン格拉ビジネスの成長
  - (-) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷（想定以上）も3Q以降一部で回復傾向
  - (-) 1Qのコロナ拡大による中国低稼働（想定外）も回復基調

◆クリーニング薬剤分野（国内）

- (+) インバウンド回復によるリネンサプライ用薬剤販売増

◆半導体加工薬剤分野

- (-) 半導体市場不況の影響

【利益】

- (-) 売上減による利益減も3Qだけでは前年同四半期比増益

【分野別】

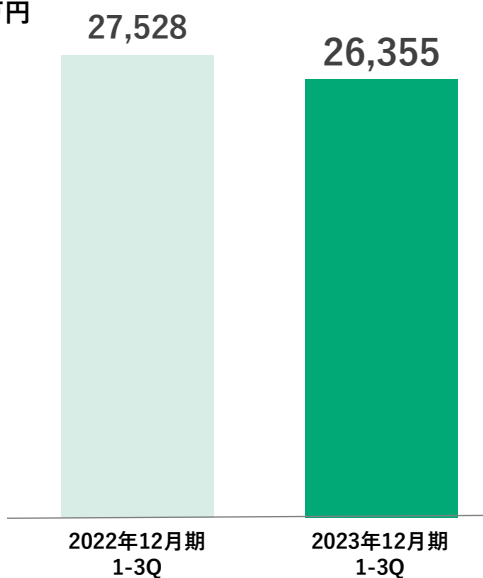
◆EHD<sup>1</sup>関連

- <+ 販売堅調> 水系ウレタン、抗菌・消臭剤、特殊オイル、リネン
- <+ 新規販売> 自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開

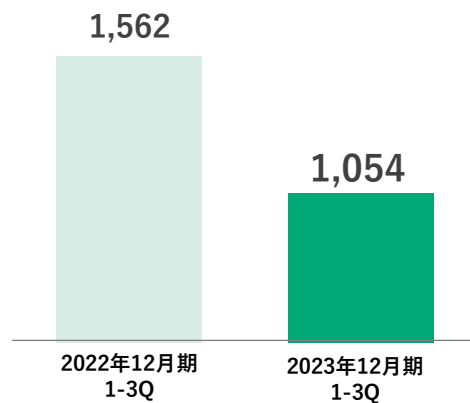
<sup>1</sup>EHD：Environment、Health、Digital

売上高

単位：百万円



セグメント利益



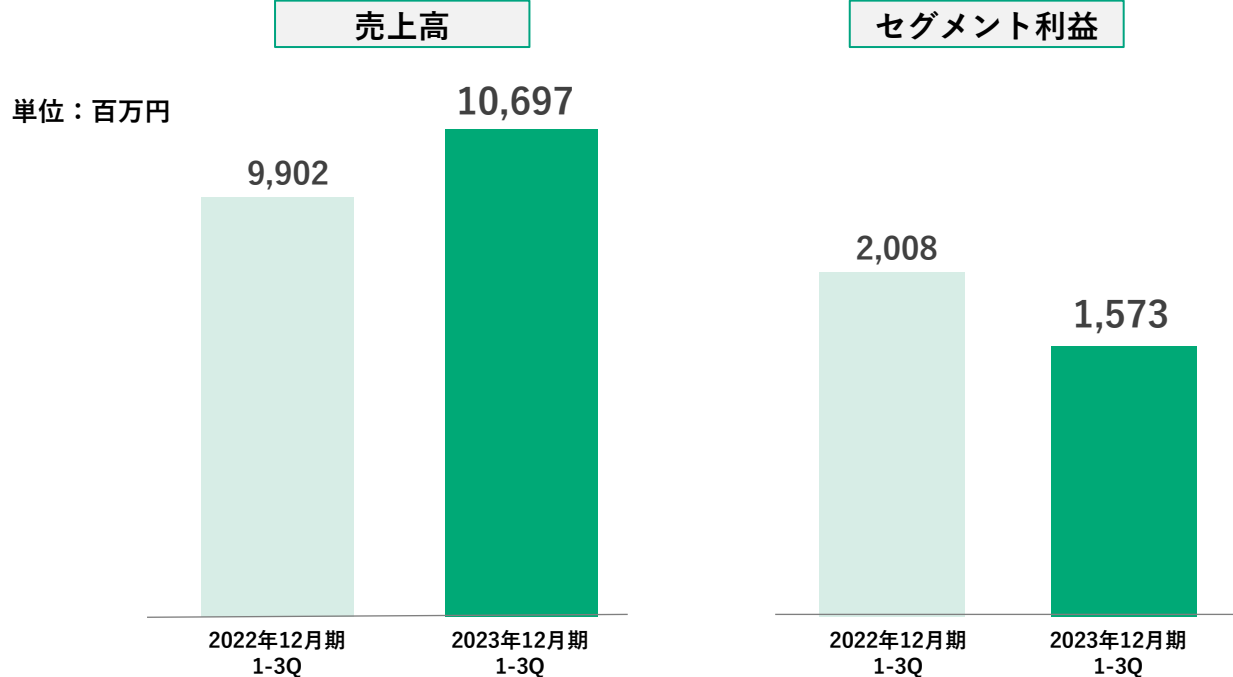
# セグメント別（化粧品事業）

**増収・減益 3Qの利益率は前年度並みに回復**

単位：百万円

化粧品事業	2022年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	9,902	10,697	795	8.0%
セグメント利益	2,008	1,573	△435	△21.7%

為替：期中平均 円/米ドル 138.87円 8.4%円安  
 国産ナフサ：1Q：66,500円（前年同期比+2.9%）  
 2Q：67,500円（同△21.6%）  
 3Q予想：63,500円（同△22.0%）  
 4Q予想：74,000円（同+2.1%）



### 要因

#### 【売上高】

- (+) 日華化学デミコスメイクス 新商品拡販等で堅調
- (+) 山田製薬、デミコリア好調
- (-) 美容室来客数の減少（想定以上）による影響受け

#### 【利益】

- (-) 積極的なプロモーション活動実施による広告宣伝費等  
販管費増（計画通り）も、3Qだけでは販管費前年度水準に

- ◆デミコスメイクス新商品  
ヘアケア「DEMI DO(デミドゥ)」、ヘアカラー「トイロクシオン」
- ◆山田製薬  
ヘアケア受託事業好調
- ◆デミコリア  
・美容室来店客数は引き続き低迷している中、新規開拓奏功で  
カラー好調

## 施策（2023年12月期）

### メリハリのある投資と高利益率の化粧品への注力

#### 施策

#### 進捗状況（1Q - 3Q）

	施策	進捗状況（1Q - 3Q）
化学品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率のアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-高利益率のEHD領域製品販売比率を高める(=EHDシフト)</li> <li>-業務の効率化 (営業・研究・生産・バックオフィス等全職種)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EHD需要増に対する<b>販売戦略推進中</b></li> <li>・新規フッ素フリー撥水剤グローバル<b>拡販中</b></li> <li>・研究基幹システム、データ分析システム等、<b>着実に運用開始・定着化</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外でのEHD製品の拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水系ウレタン、抗菌・消臭剤、特殊オイル<b>販売拡大</b></li> <li>・新規自動車向け合皮用トップコート剤<b>展開中(現在3ヵ国)</b></li> </ul>
化粧品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型新ブランド「DEMI DO (デミ ドゥ)」新発売 (4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月/メンズライン発売しサロン<b>反応良好で販売好調</b></li> <li>・スカルプコーディネーター認定制度<b>開始</b></li> <li>・年末のサロン需要期に向けて<b>リピート施策注力中</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹ヘアカラーブランドのフルリニューアル「トイロクシオン」 (6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹ヘアカラーの「トイロクシオン」への<b>スイッチ完了</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告メディアへの露出、SNSなどを活用したデジタルプロモーションの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模交通広告含め<b>上期でほぼ完了</b></li> </ul>

7

**業績・配当予想他  
(2023年12月期)**

# 業績予想（2023年12月期） 全社

2023年7月28日公表の業績予想に変更はありません

(予想)

増収・減益、増配

単位：百万円

単位：百万円

	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,627	51,000	+372	+0.7%
営業利益 (営業利益率)	2,628 5.2%	2,100 4.1%	△528	△20.1%
経常利益	3,132	2,400	△732	△23.4%
親会社に帰属する 四半期純利益	2,114	1,300	△814	△38.5%
年間配当（円）	30	32		

為替／135円（円／米ドル、2023年2Q平均程度） ナフサ／66,500円（2023年1Q平均程度） 設備投資予定額(2023年12期)／2,300百万円(変更なし)

# 業績予想（2023年12月期）セグメント別

2023年7月28日公表の業績予想に変更はありません

単位：百万円

セグメント		2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前期比 (増減額)	前期比 (増減率)
化学品事業	売上高	36,268	36,000	△268	△0.7%
	セグメント利益	1,861	1,600	△261	△14.0%
化粧品事業	売上高	13,265	14,000	+734	+5.5%
	セグメント利益	2,438	2,250	△188	△7.7%
その他	売上高	1,093	1,000	△93	△8.6%
	セグメント利益	129	100	△29	△22.5%
消去等	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△1,800	△1,850	△50	—
合計	売上高	50,627	51,000	+372	+0.7%
	セグメント利益	2,628	2,100	△528	△20.1%



7

トピックス

## トピックス① (化学品事業)

### アートネイチャー社とのウィッグ開発 (10月)

- ・当社「ネオクロマト加工」技術を応用し、人工毛髪の根本を脱色することで、よりリアルな仕上がりを実現

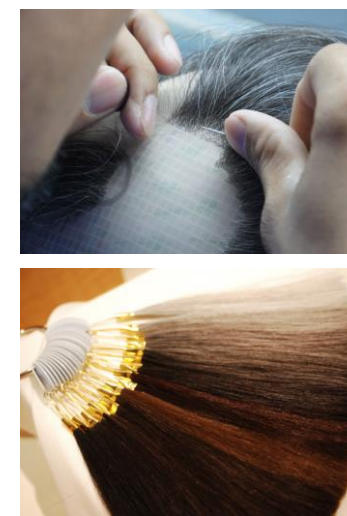
A/ アートネイチャー

#### ■当社「ネオクロマト加工」



- ・分散染料で染色したポリエステル生地に脱色が可能(染色・捺染・昇華転写等対応可能)

#### ■北陸技術交流テクノフェアに参考展示



- ・10月19,20日開催の展示会にてご紹介させていただきました

## トピックス② (化学品事業)

# Bangladesh 駐在員事務所から現地法人化完了(10月)、倉庫兼工場建設へ

### ■ Bangladesh 経済特区 (Bangladesh Special Economic Zone) 概要

事業主体：Bangladesh SEZ Ltd.

出資比率:住友商事(株) 61%、JICA 15%、 Bangladesh 経済特区庁 (BEZA) 24%

所在地 : Bangladesh ダッカ管区 ナラヤンガンジ県 (ダッカ市内から車で約50分)



経済特区開発風景

### ■ 経済特区予約契約内容

内訳：土地購入・倉庫・生産設備投資

使用期間:50年

敷地面積:13,602㎡

### ■ 当社現地法人設立概要

会社名： Nicca Bangladesh Co., Ltd.

設立日： 2023年10月

事業内容： 繊維加工用界面活性剤の製造及び販売



BSEZでのサインセレモニー

## トピックス③ (化粧品事業)

4月12日より全国取り扱いサロンにて発売中

# 「DEMI DO (デミドゥ)」日本で販売堅調、韓国でも9月発売 「DEMI DO MEN」9月発売

## ブランドコンセプト「一生この髪とあそぼう」の実現

スカルプケアは地肌や毛髪に悩みのある人だけが使うものといったネガティブなイメージを一新  
カラフルなデザインと、手軽で簡単に毎日続けられるスカルプケアを幅広い年代の方に提案

## 40年以上の専門研究の集大成！初めての「デミ」ブランド名

デミ コスメティクスの最新技術の自信、そしてスカルプケアの概念を変えたいという思いから、  
初の「デミ」を冠したブランド名



一生、  
この髪とあそぼう。  
SMART SCALP CARE

# DEMI DO



## トピックス④ (化粧品事業)

# デミ コスメティクスより基幹ヘアカラー「トイロクション」6月8日発売 サロンでのブランドスイッチ完了

- ・ヘアカラーブランド「アソート アリア C」がブランド名も新たに進化、「トイロクション」としてフルリニューアル
- ・96色のラインナップでさらに表現の可能性を広げ、お客様の要望、髪質やダメージに寄り添いながら、**十人十色の理想の色を叶える**
- ・SDGs取り組みの一環として、**プラスチック量を約55%削減した新形状の小型キャップ**を採用
- ・デミ コスメティクス初となる**タレントを起用したプロモーション**を実施



現行キャップ

新形状小型キャップ

# DEMI

## トピックス⑤

# 東証スタンダード市場に移行（10月）

### ■スタンダード市場の選択理由

- ①株主様が安心して当社株を保有・売買できる環境を確保するため
- ②近い将来、企業価値を大きく向上させ、株主様への還元を高いレベルで安定的に実行できるようになるべく、先ずは高収益化に向けた土台を固める施策に経営資源を優先的に振り向けるため
  - ・化粧品事業拡大のための大型投資（新工場建設やマーケティング強化など）
  - ・化学品 EHD 事業領域への積極投資（新規事業育成、新技術探索、M&A など）
  - ・DX や人材への積極投資 など



# トピックス⑥ (化粧品事業)

名古屋大学との共同開発

## 皮膚の水分保持等に関するタイトジャンクションの機能性を確認 (7月)



### ■ 本研究のポイント

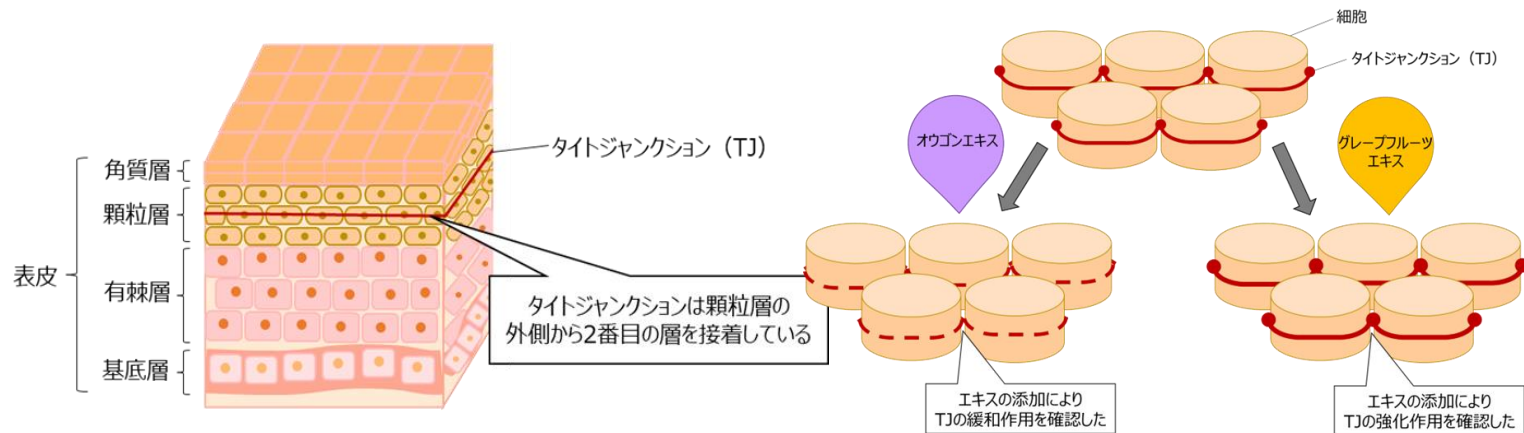
- ・タイトジャンクション (以下「TJ」) の開閉制御に着目
- ・TJの緩和作用を示すオウゴンエキスとTJの強化作用を示すグレープフルーツエキスの機能性を確認

### タイトジャンクションとは

皮膚最表面である表皮を構成する顆粒層に存在し、隣接細胞の間隙を埋める細胞接着装置。タイトジャンクションが細胞同士を強く接着させることで、皮膚のバリア機能を高め外部からの刺激物の侵入を防いだり、内部からの水分や保湿成分の蒸散を防いだりすることができる。

### ■ 今後の展開

日華化学では、本研究にて確認された成果を活かして、これらのTJ緩和および強化作用を有する成分を配合し、育毛や地肌の保湿、バリア機能強化などの機能性効果をより高めた多くの髪の悩みを抱える人々に向けたスカルプケア商品の開発を目指す

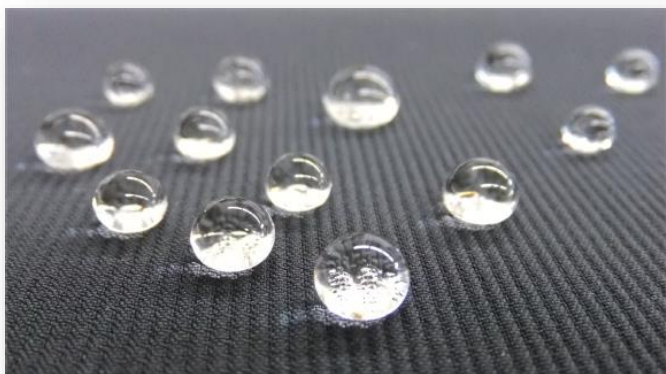


## トピックス⑦ (化学品事業)

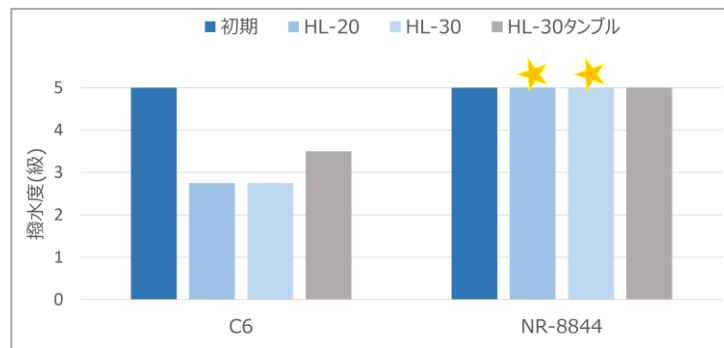
# 新規フッ素フリー撥水剤「NEOSEED NR-8844」発表 (6月)

### 自然乾燥でも撥水性が回復 = 常識を覆す新機能

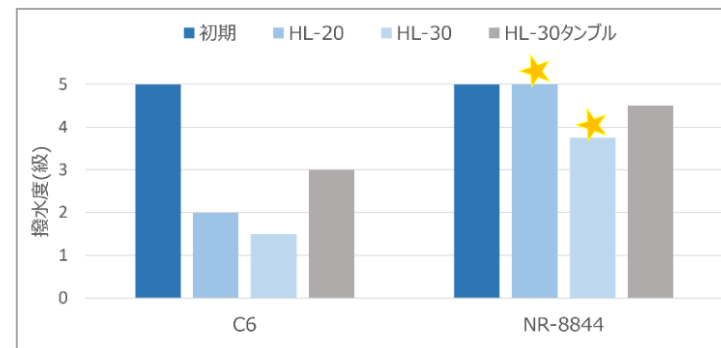
- ・フッ素系 (C6) 撥水剤を超える耐久撥水性を持つ”NEOSEED NR-8844”は、風雨にさらされた生地でも「自然乾燥」で撥水性が回復するフッ素フリー撥水剤
- ・例えば、アウトドアウエアは、あらゆる天候下にさらされ激しい動きにも耐える生地物性が求められるが、NR-8844は撥水性のみならず優れた耐スリップ性と柔らかな風合いが特長で、快適な着心地を提供
- ・ bluesign® 認証製品 (申請中) で環境負荷低減を実現



ポリエステル



ナイロン



生地：ポリエステル100%(織物) / ナイロン100%(織物) 処方：撥水剤 + 架橋剤  
 処理：Pad → Dry 130°C → Cure 170°C 洗濯：JIS L 1930 : 2014 C4M法 評価：JIS L 1092 : 2009

## ⇒ フッ素フリーで高い撥水機能を実現





## お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : [matsushima@niccachemical.com](mailto:matsushima@niccachemical.com)

この資料には、2023年10月31日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。